

もも・ネクタリン特報

【定期散布】

- ・害虫対策として、通常防除に殺虫剤を追加しております。
- ・除袋間近な場合は、除袋後に散布を実施する。
- ・隣接する園地や収穫中の作物に飛散しないよう十分注意する。
- ・ももネクタリン混植園は、ネクタリンの防除を実施する。



もも

第12回 定期防除

散布時期：前回散布から15日後（8月27日～9月2日頃）

散布薬剤： 水	100ℓ
展着剤	20ml
ベルコートフロアブル	50ml（前日、3回）
劇コテツフロアブル	50ml（前日、2回）

散布日	月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、モモハモグリガ、ハダニ類、ミカンキイロアザミウマ
10a 当り散布量：600ℓ

【注意事項】

- ① シンクイムシ類の発生が心配される場合は、コテツフロアブルに代えてアルバリン顆粒水溶剤の2,000倍（前日、3回）を散布する。
- ② コテツフロアブルは、ネクタリンへの登録が収穫7日前までとなっているので飛散などに注意する。

ネクタリン

第12回 定期防除

散布時期：前回散布から15日後（8月26日～9月1日頃）

散布薬剤： 水	100ℓ
展着剤	20ml
ベルコートフロアブル	50ml（前日、2回）
アルバリン顆粒水溶剤	50g（前日、3回）

散布日	月	日
散布量		ℓ

対象病害虫：灰星病、黒星病、ホモプシス腐敗病、シンクイムシ類、モモハモグリガ
10a 当り散布量：600ℓ

果実腐敗病対策・・・腐敗病の発生が心配される場合は、系統の違う殺菌剤をローテーションで散布する。詳細は、もも・ネクタリン特報No.7の裏面をご覧ください。

裏面には、生育情報と除袋目安、販売情勢が掲載されております。

今後の品種の成熟は前年よりも3～4日早いと予想されます。除袋・反射マルチ・葉摘み等の管理作業は、遅れることのないように進めましょう。

1. 除袋について

＊熟度の進み具合に注意し早めの着色管理を実施しましょう。

品 種	除袋時期	除袋日 目安	
		南部	北部
選抜白根白桃	収穫 13～15 日前	8/27	8/29
ゴールデンピーチ	収穫 13～15 日前	9/1	9/4
秀峰（ネクタリン）	収穫 13～15 日前	早急に	8/24

2. 反射マルチ ⇒⇒ タイベックまたはパールライト S を使用しましょう

- ★日中の高温対策として白色マルチをご利用ください。
- ★土などで汚れたシルバーマルチは、ももの着色に有効な紫外線の反射率が低くなっています。マルチを更新し、晩生種の着色向上にご利用ください。

商品名	規格	単価	100m当たりの価格
タイベック	1.5m×100m	15,120 円	15,120 円
パールライト S	1.5m×50m	7,158 円	14,316 円
果樹反射シート (シルバーマルチ)	1.5m×50m	5,965 円	11,930 円

タイベック・・・ 紫外線を乱反射することによって、きれいで万遍なく着色の向上が期待できるマルチ。
軽くて、後片付けも容易。 （耐用年数：4～5年）

パールライト S・・・高温対策の白系マルチ。丈夫な作りで破けにくい。

【使用時期】 ・着色のしやすい品種＝収穫5～7日前 ・着色しにくい品種＝収穫始めの10～14日前

☆☆☆ **J A もも販売情勢** ☆☆☆

今年のももは出荷当初からどこの産地も前進出荷でスムーズに産地リレーができています。他産地は小玉などの影響から数量不足で、市場では足りない状況が続いています。お盆前は例年以上にヒートアップしましたが、今年は盆明けも好調です。例年であれば一旦値を下げて（1,800円位まで下がる）から川白からリスタートするのですが、現在もなつっこで若干下げた程度で秀で 25-2300円前後です。当初から企画を多めに入れ、他産地の数量を見ても少ない予測が立ちましたのでそれほど下げることなく、不足感一杯のまま継続中です。

また、今年は糖度保証の反響（影響）が非常に大きく、問い合わせ・要請が多く来ています。単価に反映し皆様方の手取りが多くなるよう継続していきます。

これから最後の追い込み（メイン）の川中島白桃の出荷になります。ここでこけたら何にもなりませんので、しっかり企画を組んで、価格に反映できるよう取り組んでいきます。また、ここ数日の雨も気になりますが、極力ロスを出さない様に適期収穫で共選所への出荷をよろしく願います。

もも市況 （8月18日現在）

なつっこ 16玉 秀 2,702円（H26 2,299円）
 18玉 秀 2,590円（H26 2,114円）

＊最新の市況は、南部・平岡共選所の掲示板をご覧ください。